

題材名「肢体不自由児の表現活動を支援する ICT の活用」

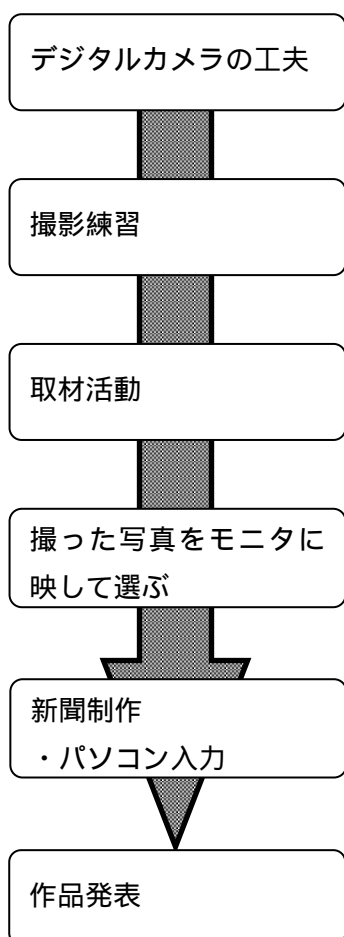
目 標

- ・ 上肢の麻痺のため自己表現の手段が限られている生徒が、「トライやるウィーク」の新聞作りを通して様々な表現手段を体験し、表現力を豊かにする。
- ・ 計画から取材・新聞制作までやり遂げることで自信を持たせ、学習や生活に積極的に取り組もうとする意欲につなげる。

コンピュータを活用する利点

肢体不自由生徒の場合、コミュニケーション意欲は旺盛であっても、自分の思いなどを表現する手段が限られるため、指導者の質問に「はい」「いいえ」だけで答えることが多くなる。また文字ボードなどを利用して時間がかかるため、出来るだけ短い言葉や単語だけで表そうとする傾向があり、表現能力が発達しにくい。コンピュータを活用し、自分1人の力で表現することで、正確な文章力を身につけるとともに、受身的な学習から自主的・意欲的な活動へと変える事ができた。

活動の流れ



ICT 活用場面

「トライやる・ウィーク」の活動として、事業所を訪問してもらい、その様子を写真に撮って、Aさんの言葉で新聞にまとめていく広報活動を計画した。

デジタルカメラを、一脚に取り付け車椅子に固定し、写真のようにシャッター部分に取り付けた紐を手すりにくくりつけ、腕を引っ掛ける形で撮れるように位置を工夫した。何回か写真を撮っているうちに、何とか 20 枚に 1 枚くらい思ったものに近い写真が撮れるようになった。Aさんは大変喜んで、何枚も何枚も写真を写していた。



自分が撮った写真を、モニタに大きく映し、新聞に使うものを自分で選んだ。その写真を元に取材で自分が感じたことを詩に表した。



新聞制作では、考えた詩を、パソコンを使って新聞にしていって。

上肢の麻痺のためキーボードからの入力ができないので、2つのスイッチとスクリーンキーボードを使って入力をした。オートスキャンモードでは、緊張が強くうまく入力することができなかったので、スイッチでスキャンする設定にした。1時間で60文字程度の速度であるが、辛抱強く取り組んだ。

成果と課題

普段文字ボードに頼る会話では、できるだけ簡単な言葉で伝えようとするため、豊かな表現までは難しい状態であった。取材に行き、写真を撮ることで、思考が広がり、豊かな表現につながっていった。

デジタルカメラでの撮影は、初めは自分には無理と思っていたようだったが、撮り始めると楽しくて、とにかくありとあらゆるものを撮りたがった。自分でカメラをまわして写す方向を変える方法も考え、1日に150枚以上も撮った。

まとめの新聞制作では、楽しく取り組んだことが次につながっていくことを実感した。手がもどかしくなるとひじで、それももどかしくなると頭で、辛抱強くスイッチを使って入力していった。普段は漢字変換などせずひらがなだけで済ませようとするのが、みんなに見てもらいたい気持ちがあるので、これも倍以上時間のかかる漢字変換をして、本当に見てもらえる文章を作っていた。そして、完成した新聞をみんなに見てもらったことで、自信をもつことができた。

今回は、文字入力はAさんが行い、写真の貼り付けやレイアウトは教師が行ったが、今後、全ての操作を自分ひとりでできるように、指導していきたい。

ICTを活用することで、Aさんは、これまでできなかった作文や、感想などを書く手段を手に入れることができた。これまででは、できるだけ短い言葉で伝えようとしていたが、人に見せるための整った文章を書こうと意識するようになった。正確に記憶できていなかった言葉も、意識して直すようになった。

これまでは出来ないと思っていた事を実際に体験し、また自分の力でいろいろなことができるという発見が、自信につながり次への意欲へとつながっていく。実際に、これまで車椅子を自分で動かすことは全くなく、人に押してもらって移動をしていたが、自分で動かしてみたいという気持ちがでてきたり、立ってみようとする意欲が見られるようになった。交流学級の生徒にも、自分から積極的にかかわっていく姿が見られるようになった。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン1台、プロジェクタデジタルカメラ、モニター
使用ソフト名	メモ帳、マイクロソフト パブリッシャー
使用教室	特別支援教室

Aさんが新聞に書いた感想

カメラマンの仕事に挑戦しました。

最初に、カメラの使い方を教わりました。大きく印刷してもらいました。2日目からは写真を写して、新聞づくりをしました。

写真を何枚も撮ると、その中にいい写真があります。最初はカメラは難しくてぶれると思っていたけど、カシャツという音が楽しく、写すときに笑顔がたくさん見れて、とってもうれしかったです。

はじめてカメラをさわり、とっても面白かったです。

